

社団法人高知県森林整備公社の
現状と取り組み

平成20年11月5日

高 知 県

1. 会社の現状

(1) 設立 : 昭和36年9月4日

◆主要な動き

- ・昭和36年 8月31日 農林大臣設立許可
- ・昭和36年 9月 4日 公社設立【社団法人高知県林業公社】
- ・昭和58年 4月 1日 教育の森造成事業移管
- ・昭和60年 1月31日 森林整備法人に認定
- ・平成 8年 4月 1日 社団法人高知県森林整備公社に名称変更

(2) 組織体制【平成20年4月1日現在】

単位:人

区分	人員	備考
社員	10	
役員	14	
理事	12	
監事	2	
職員	16	
プロパー	3	
県派遣	8	
嘱託	5	内1名非常勤
臨時	1	

(3) 経営面積【樹種別・齢級区分別面積】

単位:ha、%

区分	1~15年生	16~30年生	31~45年生	46年生以上	計	構成比
スギ	28.90	583.75	1,605.56	254.68	2,472.89	16.2%
ヒノキ	706.74	4,297.65	7,379.30	130.46	12,514.15	82.0%
マツ	0.00	0.00	82.78	53.56	136.34	0.9%
その他	25.21	105.67	0.00	0.00	130.88	0.9%
計	760.85	4,987.07	9,067.64	438.70	15,254.26	100.0%
構成比	5.0%	32.7%	59.4%	2.9%	100.0%	

*ヒノキが、全体の8割を占めていることが特徴。

(4) 主伐の時期

- ・始期 : 平成21年度から主伐開始予定
- ・終期 : 伐採終了予定年度 平成90年度(西暦2078年度) *平成18年度試算時点の見込み

(5) 会社の債務残高【平成20年3月31日現在】

単位:千円

区分	元金	比率	備考	
旧農林公庫	8,394,924	30.3%	借入期間 平成67年度まで	平均 約2.4%
市中銀行	1,441,411	5.2%	借入期間 平成32年度まで	変動・固定
県	17,837,112	64.3%	80年以内	無利子
市町村等	63,553	0.2%	新3者造林方式に基づく市町村等の負担分	無利子
計	27,737,000	100.0%		

2. 経営改善の取り組み【第2期経営改善実行計画】

現在公社では、平成20年3月に公社自らが作成した、平成20年度からの5か年間の計画期間とする「第2期経営改善実行計画」に基づき、長期収支改善のための取り組みと平成24年度の事業活動収支(経営収支:支払利息は除く)黒字化を目指した取り組みを実行中。

(1) 長期収支見通しに基づく団地のランク分け

① ランク分けの基準

団地ごとに既投資額と将来投資額の合計額と契約満了時における分収後の収益とを比較して、次の基準で平成18年度末にランク分けを実施。(一般会計のみ実施:高知県公社には、一般会計と教育の森の2つの会計有り。)

ア. 平成18年度末試算の前提条件

・木材価格	: 平成19年1月から3月までの高知県森林組合連合会共販所の平均単価
・材積	: 民有林収穫表(平成18年度版)
・分収造林期間	: 既契約期間又は平成18年度末現在で所有者との間で期間延長同意済み(地上権の変更未登記を含む。)の期間

イ. ランク分けの基準

ランク	ランク分けの基準
A	全ての借入金の返済可能
B	県からの賛助金以外の元利金の返済可能
C	県からの賛助金以外の元利金の50%以上返済可能
D	利息及び元金の一部は返済可能
E	利息の一部しか返済できない

② ランクごとの団地数及び面積

単位: 団地数、ha

区分	A	B	C	D	E	計
団地数	400	278	116	37	84	915
面積	6,507	3,512	1,481	751	1,515	13,767
	47.3%	25.5%	10.8%	5.5%	11.0%	100.0%

* ランク分けは、一般会計のみ実施。

* 端数処理の関係から合計値は不整合。

(2) 長期収支改善のための取り組み

① 契約延長と分収割合の見直し

平成19年度に行った団地ごとの資産査定に基づき、下位にランクされた団地の契約延長と分収割合の見直しに取り組むとともに、契約者が市町村の団地についても、協力を要請していく。

② 土地所有社等の整理確認

契約者の死亡等により権利関係者が複雑化している事例が見られることから、土地所有者の把握のための登記簿謄本等による調査を進めていく。

(3) 事業活動収支の黒字化

① 利用間伐、主伐計画の確実な実行

新たな有利子資金を借り入れることなく事業を行うことを目標としており、造林補助金を受け入れた後の自己資金を賄うため、収益を確保できる事業地を選定し利用間伐を実施。

単位:ha

区分	H20	H21	H22	H23	H24	計
利用間伐	222.52	197.18	204.70	235.47	267.28	1,127.15
主伐		11.70	25.65	23.30	33.44	94.09

② 一般管理費、森林経営費対策

一般管理費の節減に努めるとともに、公社負担を必要としない事業の導入等を検討。

3. 県から公社への支援

(1) 県賛助金の支援(貸付)状況

公社の経営に要する事業費から、県の造林補助金、旧農林漁業金融公庫の造林資金その他の収入等を差し引いた不足額について、賛助金として県が支援する。

単位:千円

	H16	H17	H18	H19	H20予算	計
支援額	798,476	680,384	602,233	631,493	660,774	3,373,360

(2) 利子助成

高知県施業転換資金利子助成補助金として、平成18年度に農林公庫既往資金を施業転換資金へと借り替える際、森林整備活性化資金を活用したことに伴う利子助成

平成20年度予算額 : 9,002千円

(3) 造林補助金の交付状況

単位:千円

	H16	H17	H18	H19	H20予算	計
補助金額	129,483	107,752	87,267	70,466	125,338	520,306
うち県費	36,262	34,614	31,115	27,255	49,310	178,556